

棚田とは？

棚田とは、山や丘などの斜面に階段状に作られた田んぼを言います。地域によっては「千枚田(せんまいだ)」「谷津田(やつだ)」とも呼ばれています。

一般的には、傾斜度が20分の1(水平距離を20メートル進んで1メートル高くなる傾斜)以上の田んぼのことを言います。



棚田の役割

おいしいお米を作る

きれいな水と空気にかこまれながら、昼と夜の温度差でゆっくり稲が実っておいしいお米ができます。



心を癒す

昔から大切に管理されてきた棚田の景観は、四季折々に姿を変え、見る人に安らぎを与えてくれます。

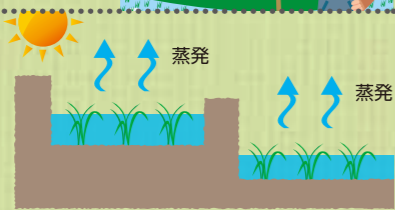
暮らしを守る

管理された棚田は、大雨が降ったとき水をたくわえて、下流域の洪水を防ぎます。また、農家の人が手入れをしたあぜによって、地すべりを防ぎます。



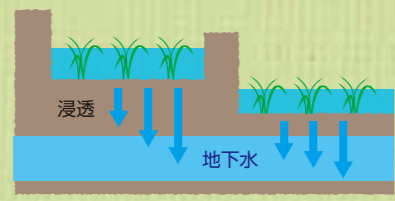
気候を和らげる

田んぼにたまった水が、太陽に照らされて、ゆっくり蒸発することによって、気温の上昇を抑えます。



豊かな水を育む

たくわえた水がゆっくりしみ込むことで、水がきれいになって地下水を増やします。



生きものと触れ合う

自然がいっぱいの棚田は生き物たちの楽園です。



ぎふの

棚田



岐阜県には約4,300ha(県内の水田の約1割)の棚田があって、「日本の原風景」ともいわれる美しい風景が見られます。

えっ! あのお城と同じなの?



坂折の開発が始まったのは江戸時代の初めで約400年もの歴史があります。この石積みは名古屋城の石垣を築いた職人集団「黒鍬(くろくわ)」と呼ばれた人々によるものであると伝えられています。(坂折棚田)



県内市町村の棚田面積

- 100ha未満
- 100~300ha
- 300ha以上

この不思議な小屋は...?



これは「板倉(いたくら)」といいます。板倉は、食べ物がたくさん採れなかった時や火事などから食べ物や家財を守るために建てられました。先祖代々「住む家を壊しても蔵だけは守れ」という言い伝えにより、住む場所を移しても倉だけは今もそのまま残してあります。(種蔵棚田)



※番号は中面の各棚田の位置を表示